



野比中だより

絆 きずな
—私らしく生きる—

横須賀市立野比中学校

〒239-0841

横須賀市野比4-4-1

tel:046-849-3318

Fax:046-849-3791

君たちの競争相手は 無限大の大空、確固不動の大地



令和2年12月に行われたスポーツジャーナリストの元川悦子氏によるインタビューの中で、「人との絆は生きる原動力になりますね」と問われたことに対してスポーツ庁・室伏広治長官から語られたものです。私は、ある講演会でその言葉を偶然知る機会に恵まれ、聞いた瞬間に、野比中生の皆さんにも伝えたいと瞬間的に感じました。



室伏長官は、玉川学園の小原芳明学長から、「君の競争相手は、無限の蒼空、確固不動の大地」と記された書を贈られたのだそうです。

金メダルを取ることや世界新記録を作る

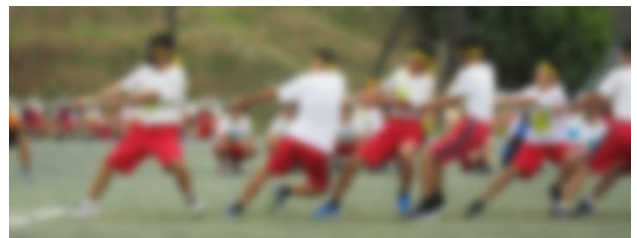
ことも大事だけれど、もっと大切なことは無限の可能性に挑むことだと分かり、それまでの自分の考えの狭さを再認識する機会になりました。そのおかげで、41歳まで現役を続けられた。スポーツの素晴らしさを体感した大きな出来事でした。

とそのインタビューで語っています。



この言葉、もともとは玉川学園の創立者である**小原國芳氏**が玉川学園の体育祭で語ったことが原型になっているようです。

メダルやカップを目的にせず、自分の無限の可能性に向かって精一杯挑め、という創立者から若人への力強いメッセージであり、今も玉川学園の体育祭では受け継がれているそうです。





この言葉を知ったとき、特に3年生にとっては、コロナの対応で中学校での生活が始まり、修学旅行でようやく学年としてのまとまりが生まれ、ようやくここまでたどり着いたということを考え、競い合うとは言うものの、



それは、他人とかそういうことではなく、自分たちが自分たちの持つ無限の可能性に挑んでいくのだと気が付き、目から鱗が落ちる思いがしました。3年生だけではなく、1年生、2年生もそうですよね。例えば、いまだに給食は「黙食」として前を向いたまま食事をしています。そうした中で、自分だけでなく仲間



と共に高め合い、認め合うことがどんなに大切なことか。野比中生のみなさんには、これからも成長し合える仲間づくりをすすめてほしいなああと切に思うのです。

閉会式でお話しさせていただきましたが、NOBILYMPIC2022を実施して、本当に



良かったと思います。3年生のリーダーシップとリーダーを支える仲間の姿、それを受け止め必死に取り組む1・2年生の姿、それぞれにみなさんのよさが発揮されていました。最後のダンスでは、もしかすると最後までたどり着かないカラーがあるのではないかとドキドキしていましたが、そんな心配はどこかに吹き飛び、みなさんの様子を拝見していて、自然と涙が流れてきました。解団式でも、団



長さんをはじめとして、それぞれが自分の言葉で思いをしっかりと語っていたし、それを仲間がしっかりと受け止めていたと思います。この姿も本当に素晴らしかった！そういう気持ちになれたこと、みなさんに感謝しています。本当にありがとう！



この後は、それぞれの学年の合唱コンクール。また違った皆さんの姿に出会えることを期待しています。



あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり